

ベトナム社会主義共和国

首都……ハノイ
面積……約32.9万km² (日本の約9割の広さ)
人口……約7,971万人 (2002年)
政体……社会主義共和国
宗教……仏教80%、カソリック約9%、
その他カオダイ教、ホアハオ教など
元首……チャン・ドゥック・ルオン国
家主席

from the world
世界の国
から

ベトナム 社会主義共和国

Socialist Republic of Vietnam



新たな日・ベトナム関係の節目となった2003年



目覚ましい 経済発展

ベトナムは、1986年のドイモイ(刷新)政策導入以後、急進的な経済発展を遂げています。2003年10月時点での国内総生産(GDP)成長率は7%に達し、これは中国に次いで高い数値です。

産業は、製造業とITソフトウェア関連産業が好調で、特にITソフトウェアは急激に成長しています。01年に企業法が成立し、多くの新しい企業が誕生して経済発展に大きく貢献しました。03年の調査では、約1,000万ドルの経済効果があったと試算されています。

現在も、社会主義の計画経済から市場経済に移行している段階ですが、05年までに世界貿易機関(WTO)に加盟するという目標に向けて、国

内のビジネス環境のさらなる改善に努めています。

ベトナムでの事業展開に 強い関心

今回の来日は、日本貿易振興機構(JETRO)が7月末から8月初めにベトナムに派遣したビジネス・ミッションを受けて、参加企業を中心に個々の企業の関心をフォローアップすることが主な目的でした。

10月20日～11月21日までの滞在期間中に、約30の企業との個別面談を行いました。東京だけでなく、宮崎から大阪、名古屋、長野、埼玉、横浜など各地の企業をはじめ、JETROや商工会議所など関連団体も訪問しました。

どの企業からもポジティブな反応があり、なかでも数社からはベトナムでの事業展開に強い関心を示していただきました。

投資環境が 整備されたベトナム

ベトナムの投資環境については、好調な経済もひとつの長所としてあげられますが、それ以外にも地理的な好条件、優秀で豊富な労働力、発展の可能性、政治・治安が安定していることなどが、外資を引きつける要因になると考えています。

そのうえ、03年11月14



日本でも人気のベトナム料理
左:ゴイ・クオン(生春巻き)、右:フォー(米の麺)

日には、ベトナムと日本の投資協定が調印され、日本の企業がベトナムに進出しやすい条件が整ったので、日本のベトナムへの投資は将来的に増えていくと思います。日本とベトナムの外交樹立30周年という節目の年に、投資環境が整備されたのは、まさにベストタイミングだったといえます。

最近では、多くの観光スポットを抱えるベトナムが海外旅行先として若い女性に人気を博すなど、日本でもベトナムへの関心が高まっていると聞いています。日本人旅行者に対しては、15日以内の短期滞在であればビザを不要にしようという準備も進められています。今後とも、ベトナムが日本でよりポピュラーな国になり、また両国のパートナーシップがさらに強化されることを期待しています。

チャン・ホア・ビン
ベトナム計画投資省 外国投資庁
シニア・オフィサー

Mr. Tran Hoa Binh
Senior Official
Foreign Investment Agency
Ministry of Planning and Investment

★2004年1月よりビザ免除



古くから日本とのかかわりも深い。写真は日本人がつくったと伝わる来遊橋(通称:日本橋)